

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和2年5月7日

事業名称	児童・生徒指導事業費 [普通学級介助員派遣事業]							
予算科目	款 10 教育費 項 1 教育総務費 目 3 教育指導費	事業番号	3					
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	教育総務 課 学務 係				課長名	斎藤 謙二郎		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	1 - 1		
【施策名】学校教育の充実					総合計画書 (ページ)	31		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 普通学級に在籍している介助を必要としている児童・生徒			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 介助を必要とする児童・生徒数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 介助を必要としている児童・生徒が、安全に学校生活を送ることができる			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 安全に学校生活を送ることができた児童・生徒数				
	③ そのために何をしましたか。 介助員を採用し、当該普通学級に配置する			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 介助員勤務日数				
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
	対象指標	①の数値		人	1		4	5
	成果指標	②の数値	人	1.0	4.0	5.0		
	目標	②の目標値	%	100.0	100.0	100		
		目標値設定の考え方 介助が必要な児童・生徒の安全を確保する						
活動指標	③の数値	人	132	757	1,135			
経費	事業費(実績)		円	867,035	3,869,507	5,844,713	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	一般財源		円	867,035	3,869,507	5,844,713		
	特定財源		円	0	0	0		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
	所要人数(再任用以外)		人	0.1	0.1	0.0		
	所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.2		
	職員人件費(再任用以外)		円	825,300	824,400	0		
	職員人件費(再任用)		円	0	0	783,400		
事業費+人件費		円	1,692,335	4,693,907	6,628,113			
環境変化等	(1) 開始年度 平成20年度							
	(2) 環境の変化 就学相談の結果、介助を必要とする児童・生徒が普通学級に在籍することとなったことを契機に、事業を開始した							

事業名称	児童・生徒指導事業費 [普通学級介助員派遣事業]			
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係 課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし			
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
6 市民協働	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
		(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記） 一律的な対応は難しく、介助員に看護師資格が必要であったりと、ケースバイケースの対応となってしまう。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 特になし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ケースバイケースの対応とならないよう、介助員配置の統一的な判断基準等作成する必要がある			
8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	施策名：学校教育の充実 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 介助員配置基準を作成する			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 特になし			